認知症家族介護教室を受講された皆さまのアンケート結果を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者　田村　法子
研究機関名　慶應義塾大学医学部
（所属）　医学教育統轄センター

このたび当院では、認知症家族介護教室を受講された皆さまのアンケート結果を用いた、下記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる皆さまへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、皆さまへの新たな負担は一切ありません。また、皆さまのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない家族介護者の皆さまは、その旨を「８　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

以下のいずれかの研究に参加された方で、同意していただいた際に「研究終了後の試料取扱いの方針」という新たな研究への利用について、ご許可いただいた方が対象となります。

- 認知症介護教室（認知行動療法プログラム）の効果判定に関する研究（慶應倫理委員会承認番号 20170224）
- 認知症家族介護者への集団認知行動療法プログラム- 多施設ランダム化比較試験（UMIN000032514 、慶應倫理委員会承認番号 20170366）

２　研究課題名

承認番号　20231202

研究課題名　認知症家族介護者に対する認知行動療法とポジティブ心理学に基づく集団形式の複合的介入プログラムの介入効果に影響する因子の検討

３　研究組織

研究機関	研究責任者
慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター	研究員　田村法子

４　本研究の目的、方法

本研究では、「認知症家族介護教室」（正式名称：認知症家族介護者に対する認知行動療法とポジティブ心理学に基づく集団形式の複合的介入プログラム）で得られたアンケート結果を解析することで、認知症家族介護教室の介入の効果の予測因子、介入の効果に影響する因子を明らかにすることが目的の研究です。認知症家族介護教室参加時にご回答いただいたアンケートデータを二次利用し、解析します。具体的には、年齢、性別、介護状況、心理的アンケート、教室参加回数など、です。すでに個人を特定する情報（氏名、住所、電話番号など）は排除されています。

５　協力をお願いする内容

本研究では、「認知症家族介護教室」（正式名称：認知症家族介護者に対する認知行動療法とポジティブ心理学に基づく集団形式の複合的介入プログラム）に参加された方の年齢、性別、介護状況、心理的アンケート、教室参加回数などを用いて解析を行います。本研究のために新たな検査や治療が追加されることはありませんし、ご負担いただくこともありません。

６　本研究の実施期間

研究実施許可日～2025 年 3 月 31 日（予定）

７　外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、アンケート結果の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

田村法子
慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター
研究員
cbt.kaigo.2018@gmail.com

以上